

【参考1「実践の概要】

- (1) 単元名：「ともに生きるために～おじいちゃん・おばあちゃんと仲良し大作戦！」
- (2) 実施期間：平成17年9月22日～平成18年3月9日（約6ヶ月間）
- (3) 実施時数：49時間（総合的な学習の時間を活用）
- (4) 対象児童：4年2組 29名（男子13名、女子16名）
- (5) 交流先：日の出町老人会「縁会」（学区内の団地にある）
4学年の他の2クラスは、別の老人団体と同時並行で交流した。

【参考2「単元のポイント】

単元で大切にしたこと

- (1) 地域の高齢者とのふれあい
- (2) 相手のことによく考える
- (3) 振り返りの時間

【参考3「メイン学習とつなぎ学習の流れ】

ステップ	時数計	学習内容
つかむ	1・2・3	児童の祖父母について考える お年よりに対するイメージアンケート 学習ファイル作り 高齢者擬似体験用具の試着
	4・5	《字年実施》地域の名入（高齢者）を呼んで話を聞く (着物づくり名人、尺八名人)
	6	名人講師への礼状書き、振り返りカード作成
	7・8	《字年実施》高齢者擬似体験
	9	振り返りカード作成 プリント学習（お年よりとの接し方） 次回老人会との交流のゲームを考える、グループ分け
	10・11	老人会との交流（団地集会室） (ゲーム、折り紙を教わる)
	12・13	老人会パートナーへのインタビューを考える（班活動） パートナーの名札づくり
	14・15	老人会との交流（団地集会室） (インタビュー、折り紙を教わる)
	16～20	「パートナーともっと仲良くなる計画」をたてる。 (班でアイデア出し クラス全体で意見交換 班で計画シート作成) 学習発表会の招待状作り
	21・22	老人会との交流（団地集会室） (パートナーへ計画相談、手芸を教わる)
むかう	23～25	もっと仲良くなる計画の準備（班活動 クラス意見交換） 交流給食会の招待状作り
	26・27	老人会との交流（団地集会室とその周辺） 仲良くなる計画を班ごとに実行～班別内容：散歩、折り紙を教える、昔遊び、ドッジボールなど、パートナーの立場に立ち配慮・工夫する。

	28~30	振り返りカード プリント学習（高齢化社会について）、DVD学習（お年よりの暮らし） 交流歓迎会・給食会の班別分担決め・準備 パートナーへお礼の手紙を書く
	31・32	老人会との交流（団地集会室） (パートナーから昔の話を聞く、似顔絵プレゼント)
	33・34	振り返りカード、パートナーの昔の話を紹介 次回交流歓迎会・給食会リハーサル
	35	老人会との交流（学校） (交流歓迎会と給食会、全員で手紙の交換)
	36	振り返りカード、パートナーへ年賀状を書く
い か す	37~41	「共生社会のために自分ができること」を考える（シート） お年よりに対するイメージアンケート 「自分ができること」から「みんなでできること」を話し合い決めた (共生社会の大切さを訴えるチラシ・ポスターを作つて地域に伝えたい)
	42~46	班ごとにチラシ・ポスター作成
	47	地域でチラシを設置してくれる協力店・施設を考える。 代表児童が設置しに行く（放課後：担任も同行しビデオ撮影）
	48・49	全員でチラシ設置のビデオを見る チラシ・ポスター設置場所からの反響・感想を共有する 学習のまとめ

網掛け 印の学習内容は「メイン学習」、その他の学習内容は「つなぎ学習」



(写真1)振り返りのための
福祉学習ファイル（ポートフォリオ）



(写真2)「どうぞよろしく！」